

令和7年度 医療安全シンポジウム（Web開催）開催要項

1. 開催趣旨

高齢化の進展により様々な疾患を抱え、複数の医療機関や診療科を受診する患者が増加しており、それに伴い多剤併用（ポリファーマシー）の問題が指摘されるようになった。ポリファーマシーは、ふらつき・せん妄・抑うつなどの薬剤有害事象を引き起こすリスクだけでなく、服薬管理の複雑化により患者自身が正確な内服ができないといった問題を招くこととなり、病院施設だけではなく在宅医療の現場でも大きな課題となっている。

少子高齢化が進み、地域で求められる医療機能も「病院完結型」から、地域全体で治し、支える「地域完結型」へと変化する時代を迎え、病院から在宅まで切れ目のない医療・介護の連携を通じて患者や家族とともに、処方適正化と服薬支援に取り組むことが求められている。

今年度の医療安全シンポジウムでは、病院・在宅における多職種による意見交換を通じて、ポリファーマシーに関する課題や対応策について共有し、今後の連携の在り方を検討する機会にしたい。

2. 開催日時

令和7年11月29日(土) 13:00～16:30

3. 開催内容

テーマ:「みんなで考えよう medication safety～ポリファーマシーのもたらす課題～」

プログラム: 講演、シンポジウム (詳細 9.プログラム参照)

4. 開催場所

ZOOMを用いたオンライン開催

5. 対象

看護師、助産師、保健師、医師、歯科医師、薬剤師、診療放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師、作業療法士、理学療法士、事務、その他の医療従事者

6. 定員

250名

7. 申込期間

令和7年10月1日(水)～11月17日(月)

8. 参加費

1,500 円

令和7年度

医療安全シンポジウム

公益社団法人京都府看護協会

参加費
1,500円

下記QRコードまたはURLから
お申し込みください



<https://forms.gle/Dm269g4AgUnX7qXe6>

みんなで考えよう medication safety ～ポリファーマシーのもたらす課題～

2025年11月29日(土) 13:00～16:30

会場 Zoomによるオンライン開催

対象 医療関係者の方、テーマに関心のある方

講演 13:10～13:20

「ポリファーマシーとは」

講師 松村 由美

公益社団法人京都府看護協会医療安全委員

京都府医師会理事

京都大学医学部附属病院医療安全管理部部長

シンポジウム 13:20～16:30

「ポリファーマシーについて考える」

【特別コメンテーター】 山口明浩 京都府医師会医療安全対策委員会委員長
京都山城総合医療センター病院長

〈病院部門から現状と課題〉

シンポジスト

松村由美 京都大学医学部附属病院医療安全管理部部長

友金幹視 京都第二赤十字病院薬剤部部長/京都府薬剤師会常務理事
公益社団法人京都府看護協会医療安全委員

中村いつ子 京都第二赤十字病院看護副部長

〈在宅部門から現状と課題〉

シンポジスト

田原正夫 岩倉駅前たはらクリニック院長

中林 保 おれんじ薬局開設者 管理薬剤師/京都府薬剤師会常務理事

田辺順子 訪問看護ステーションたんぽぽ所長

座長

岡田依子 公益社団法人京都府看護協会医療安全委員

山下さやか 公益社団法人京都府看護協会医療安全委員

後援

京都府 京都市 京都府医師会 京都府薬剤師会 京都府歯科医師会 京都府病院協会 京都私立病院協会 京都府助産師会
京都府訪問看護ステーション協議会 京都府診療放射線技師会 京都府臨床検査技師会 京都府作業療法士会 京都府理学療法士会
京都府臨床工学技士会

【お問い合わせ】

公益社団法人京都府看護協会
kyokango@kyokango.or.jp

TEL075-723-7195